

# 令和2年度日本青年国際交流機構（IYEO）

## I.活動方針

### **共生社会の実現に向けて、生きる力を発揮しよう**

人々の交流がより一層スピード感をもち、混ざり合うこれからの社会においては、幅広い視野を持って柔軟に新しい取組を考え、実行できる人材が必要とされています。私たちは、世界につながる IYEO の全国ネットワークを活用し、青少年及び広く一般を対象に、多様な価値観と出合う楽しさを作り続けることによって、地域の国際化と次世代リーダーの育成を目指します。

#### 活動の三大方針

(国際交流分野) #国際交流 #地域

#### **1.多様な交流で地域と世界の距離を縮めよう**

自分の暮らす地域への理解を深め、地域への誇りと当事者意識を持ち、国際交流活動を推進します。

(青少年育成分野) #青年 #人づくり

#### **2.次世代のグローバルリーダーを育てよう**

世界各国との交流や視野を広める機会を青年と共につくり、青少年の国際的な友好や相互理解の促進と協調精神を高めることで、地域から世界に向けてグローバルに活躍する次世代のリーダー人材を育成します。

(社会貢献分野) #地域 #社会貢献

### 3.多様な関係者と協働し社会課題を解決しよう

会員のリーダーシップ、ネットワーク、専門性を活用し、社会課題の解決に取り組むことで、地域に暮らす一人ひとりが人間性を高め、だれもが生き生きと暮らせる社会の実現に貢献します。

- 私たちは何者か？

私たちは、青年期の国際交流を共通体験とする多世代で構成され、地域と世界をつなぐ社会活動に取り組む団体です。

- 私たちはどんな活動をしているか？

国際交流の共通体験から人的ネットワークやそこから生まれる物事の価値を信じ、地域の共生社会の実現に向けた多様な交流プログラムを企画運営しています。

- 私たちの団体の特徴？

## II . 主な活動分野

第1分野：青少年分野についての活動の啓発

第2分野：地域の活性化に資する活動

第3分野：地域における国際交流活動を基本にした人材育成

第4分野：内閣府青年国際交流事業の受入れへの協力及び自主事業による外国青年受入れ／派遣

第5分野：都道府県 IYEO 及び会員のネットワーク強化と活性化

第6分野：国際協力活動



第7分野：内閣府青年国際交流事業の外国参加青年とのネットワーク

第8分野：広報活動への積極的取組

第9分野：財政基盤及び組織体制の確立

### III.活動計画

#### 1. 青少年分野についての意識の啓発及び具体的な活動の推進

- (1) 「自主活動サポート助成金制度（チャレンジ・ファンド）」を活用した独自活動
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組（日本肢体不自由者卓球協会（PTTA）をはじめとする関係団体の活動に協力するためのボランティア翻訳・通訳活動チームによる活動）
- (3) 青年のリーダーシップの向上や社会への参画意識を高めることができる内容及び異文化理解を促進する内容の自主事業の企画・運営
- (4) 子ども・若者育成支援推進法の普及・啓発への協力
- (5) 各種青少年国際交流事業へのリーダー推薦及び公的委員会等への人材推薦
- (6) 他分野、他団体との連携活動の推進（共催、後援、協力）
- (7) 社会活動（ボランティア活動）の啓発・促進

#### 2. 大規模災害の被害からの復興活動への取組

- (1) 大規模災害の被害への復興支援を継続的に行うべく、被災地のニーズを把握し、都道府県IYEOとの連携を強化して進めていく。
- (2) 継続支援を行う地域のニーズの明確な把握、効果的な支援への取組
- (3) 国際交流の視点を取り入れた活動を、被災地において積極的に展開
- (4) ホームページ等で世界や全国からのメッセージや活動内容の発信

### 3. 国内ネットワークの強化

#### (1) 各事業直後の全体での事業報告会の開催（年3回）

- 「世界青年の船」事業報告会
- 航空機による青年海外派遣報告会
- 「東南アジア青年の船」事業報告会

#### (2) 事業毎の国内ネットワークの自主的強化

- Air-Net Day の開催
- 「日本・中国青年親善交流」事業関係者による中国同窓会の開催
- 各事業関係各国大使館への訪問
- 「コアリーダープログラム」既参加者の情報交換会の開催

#### (3) 会員情報の把握強化

- 「IYEO 会員データプロジェクト」の継続

#### (4) 団体会員を中心とした関係団体との交流事業の実施

### 4. 海外とのネットワークの強化

#### (1) SSEAYP インターナショナル総会の開催

#### (2) SWYAA 国際大会の開催

#### (3) 中華全国青年連合会を基本にした「日本・中国青年親善交流」事業の中国既参加青年と連携

#### (4) 「日本・韓国青年親善交流」事業の韓国既参加青年との連携

- 「日韓交流連絡会議」の開催

#### (5) 「国際青年育成交流」事業のネットワーク形成に向けた調整

#### (6) 国内における Air-Net Day の開催などを軸におきながら継続的派遣国を中心に発展

#### (7) 「コアリーダープログラム」のネットワーク形成に向けた調整

## 5. 全国大会の開催

全国大会熊本大会の実施

## 6. 全国推進会議の開催

年に2回全国推進会議を実施

## 7. 青少年国際交流を考える集い（ブロック大会）

- 8ブロックにおいてブロック大会を開催する。
- ブロックごとに活動方針に沿ったテーマを設定し、ブロック大会開催の際に掲げて、会員の活動についての共通認識の形成と意識高揚に資する。

## 8. 国際並びに国内支援活動

- (1) インドシナ津波被災国であるスリランカへの支援（スリランカ教育支援プロジェクト）を始めとする SWYAA における国際支援活動の継続
- (2) タイの「For Hopeful Children Project」への支援活動を始めとする「東南アジア青年の船」事業事後活動連携組織（SSEAYP インターナショナル）における国際支援活動の継続
- (3) 事後活動組織の国々においての災害に対して、各国事後活動組織との連携による支援
- (4) 各都道府県においての災害に対して、都道府県 IYEO との連携による支援

## 9. 内閣府青年国際交流事業募集広報への協力並びに団体としての広報活動強化

- (1) IYEO の社会活動団体としての活動実績を明確にアピールし、非営利団体としての社会的役割を広く知らしめるための広報活動に力を入れるとともに、内閣府青年国際交流事業の充実に資するため、参加者募集広報活動の協力を重点をおいて取り組む。

### (2) 事業広報

- 年間を通しての広報活動の工夫
- 事業報告会及び事業説明会の開催
- 大学での事業説明会への協力

- 募集パンフレットの配布先の開拓
- マスコミへの紹介
- 企業への事業説明
- その他、効果的な広報活動を検討し推進

### (3) 団体広報

- 広報誌等の活用
- IYEO ライブラリーの更新
- ソーシャルメディアの活用
- その他、効果的なツールの活用

#### 10. 事後活動「Bulletin Board」・広報誌「HUMANO」の発行

- 年1回発行（年に1回、Macrocosmを全会員へ発送時に同封）
- 都道府県 IYEO の連絡文書発行に協力（「Bulletin Board」）
- 年間を通しての内閣府と連携した広報活動の工夫
- 大学での事業説明会への協力
- 内閣府と連携した企業への働きかけ
- インターネットやソーシャルメディアを使った広報の充実

#### 11. 財政基盤及び組織体制の確立

(1) 会員に対しての呼びかけを含め、継続的な寄付金収入の確保に努める

(2) 財政強化検討チームによる、具体的な財政基盤の強化への積極的取組

- 頒布品の充実
- 広告料の増収